

兵庫おでかけ情報

# 青空主義

プラス

## 神戸で「六甲ミーツ・アート」

芸術の秋を彩る六甲山上の恒例イベント「六甲ミーツ・アート」が、六甲山カンツリーハウス（神戸市灘区六甲山町）など9会場で開催されている。ユーモアあふれる立体造形、幻想的な光の作品など37点を展示。山の歴史にちなんだ絵画、彫刻、豊かな自然環境や壮大な眺望を生かしたインスタレーション（空間芸術）も並び、ピクニック気分で現代アートを満喫できる。

（3面「人」に竹久万里子さん）

六甲山カンツリーハウスの広大な緑の丘に映えるのは、白い木々のような半谷学さん作「ネイチャー・アンブレラ」。竹や木、ロープの廃材で作られた立体作品で、山の風にゆるやかに回転する。見えない風を視覚化する美しい「風の彫刻」だ。

六甲オルゴールミュージアム周辺で印象的なのが、水辺の小道を彩る竹久万里子さんの「たまゆら」。数多くの木々の枝に、テグスで1万個以上もの鈴をつり下げた。風に涼やかな音を立て、心を澄ま

## 立体作品など37点

せてくれる。無数の銀の鈴は、奇妙な木の実にも見える。

カメラレオンのように森の緑に溶け込み、鑑賞者を驚かさずのは、浅羽昌二さんの「森のむこう」。鏡面素材で周囲を覆った「壁」のような立体作品で、歩いて通り抜けることもできる。壁面は緑の木々を映し、遠目には森と一体化した透明な壁のよう。窓状の部分などからは、壁の向こうの森が見え、鏡に映る虚像と現



激的な「森のアート」だ。

Hide mi Nishidaさんは、六甲山ホテル裏の静かな池の水上に食卓を設け、詩情あふれる幻想的な光景を創出した。人気美術家の加藤泉さんは、六甲有馬ロープウェイの使われていないゴンドラや設備に、宇宙人のような怪しい人物像3体を飾り、不思議な世界を演出した。11月24日まで（会期中無休）。中学生以上1850円、



④ Hide mi Nishidaさん作「The Meals 彼女の食卓」  
⑤ 六甲山ホテル 加藤泉さんの木彫作品「六甲有馬ロープウェイ」六甲山頂駅

# 現代美術 山上で体感

実の風景とが重なり、何とも言い難い違和感を覚える。SF作品に登場する「光学迷彩」という未来技術をもっと思いつかべた。人間の目がだまされやすいことを再認識させる刺

（堀井正純）

⑥ 木々の中に設置された浅羽昌二さんの「森のむこう」。鏡面素材で森の風景に融合する＝六甲オルゴールミュージアム ⑦ 「もんもん」など文字を立体化したユーモラスな作品「胸の土器土器」（佐川好弘さん作）。眼下の眺望も抜群だ＝六甲枝垂れ（撮影・小林良多）

